

～2020年度「校長室からの挑戦状NO. 14(6/26)」～ (×切: 7月1日)

◇ 問題

次の二人の会話を読んで設問に答えなさい。

A: 算数の計算は左から順にやればいいんだよね。

B: 基本はそうだけど、①□や②□は③□や④□に優先して計算を行うのよ。それと、かっこがある場合にはその中から計算をはじめますね。

問1: □に当てはまる記号を次から選んで記入しなさい。

— θ × μ + ÷ Σ Π

A: そうなの。知らなかったな。

B: 例えば、赤鉛筆82円を5本とノート150円を3冊買って、五千円札で払ったときのおつりは一本の式で書くとどうなるかな。

A: 一本の式で書いたことがないからわからないな。

B: 簡単ですよ。それは、 になりますよ。

問2: Bさんの上の□に式を書きなさい。また、その答え(おつり)を求めなさい。

A: すごいね。まとめて書くことができるんだ。ぼくはいつも式を分けて書いていたよ。

B: 算数には規則があるのよ。規則に基づいた理屈の積み重ねをいいかげんにすると前に進めませんよ。現代では科学と無縁には生きられないし、その基礎は算数・数学なのよ。だから算数・数学は の言葉といわれているのよ。コンピューターも算数・数学から成り立っていますね。

問3: じゃあ、仕上げに次の問題をやってみてください。

① $21 \div 3 + (14 - 3 \times 4) =$

② $(7 + 16 \div 4) \times 7 + 3 =$

問4: 「算数・数学は□の言葉といわれている」に、当てはまる言葉を本文中の漢字2文字で書きなさい。

| | | | | |
|-------------|---|---------------------------|----------------|---------------------------|
| <p>問1</p> | <p>① ×</p> | <p>② ÷ 順が逆でも可</p> | <p>③ +</p> | <p>④ - 順が逆でも可</p> |
| <p>問2</p> | <p>$5,000 - 82 \times 5 - 150 \times 3 = 4,140$ 答え 4,140円</p> | | | |
| <p>問3-①</p> | <p>$21 \div 3 + (14 - 3 \times 4) = 7 + (14 - 12) = 7 + 2 = 9$</p> | | | |
| <p>問3-②</p> | <p>$(7 + 16 \div 4) \times 7 + 3 = (7 + 4) \times 7 + 3 = 11 \times 7 + 3 = 77 + 3 = 80$</p> | | | |
| <p>問4</p> | <p>科</p> | <p>学</p> | | |